

富小 だより

教育目標【考える賢い子 心豊かな子 たくましい子】
重点目標【自分を知り、相手意識をもって学び合う、富小っ子の育成】

令和5年4月7日

第1号

日高町立富川小学校

新しい教職員と共に、子ども達の成長を支援して参ります

昨年度までに学習してきた土台の上に、今年度の学習を上乗せして、確実な基礎・基本の定着を図っていきます。

今年度も子ども達のために、全力で頑張ってお参りますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

なお、今年度は「自分を知り、相手意識をもって学び合う、富小っ子の育成」を重点目標にして、教育活動を進めて参ります。「学校」と「家庭」が両輪となって、子ども達の成長を支えていきたいと思います。



重点目標を意識し、富小っ子の育成を進めて参ります

今回の異動で残念ながら本校から去ってしまった教職員の後を受け、6名の教職員が新たに加わりました。これまでと同様に、子ども達の成長のために様々な取組を進めて参ります。よろしくお願い致します。(裏面に教職員名簿一覧がございます。)

新保 真都香 教諭 (新ひだか町立高静小学校より)

新ひだか町にあり、昨年150周年を迎えた高静小学校から参りました新保真都香です。約20年ぶりに富川小学校で働かせてもらいます。その頃なかった給食を食べることや徐々に滑るスケートが楽しみです。富川小学校や子ども達の素敵なおところをたくさん見つけ、子ども達が毎日笑顔で過ごせるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

深瀬 佳菜 教諭 (浦河町立浦河小学校より)

はじめまして！浦河町立浦河小学校から参りました深瀬佳菜です。初めての転勤でドキドキしていますが、富川小学校からのお子たちが「学校が楽しい！」と思えるように、楽しく勉強し、全力で遊び、子どもたちがたくさん成長できるように頑張ります。また、学校や地域に一刻も早くとけ込みたいと考えております。よろしくお願い致します。

小室 亜沙子 教諭 (浦河町立荻伏小学校より)

富川小学校の保護者の皆様、初めまして。小室亜沙子と申します。新冠町から通います。富川(日高西部地域)は初めて働く土地です。どんな出会いがあるか、ワクワクしています。好きなことは、(40代も半ばですが)ゲーム、(下手ですが)ギター、編み物、ドライブです。毎日明るく笑顔でがんばってまいります。これからどうぞよろしくお願い致します。

竹田 敦子 教諭 (日高町立門別小学校より)

富川小とは縁が深く、この度4度目の赴任になります。4～6年生は、以前1～3年生でした。覚えてくれているでしょうか？今年度は外国籍のお子さんたちの日本語担当として働くことになりました。私にとっては初めてなので、しっかり勉強して対応していきたいと思っております。好きなことは、歌と絵本とファイターズです。どうぞよろしくお願い致します。

山本 唯 教諭 (北広島市立東部小学校より)

はじめまして。山本唯と申します。出身は札幌で、岩見沢の教育大学を卒業し、教員になって17年目になります。これまでに、宗谷管内の利尻町と猿払村、えりも町、そして北広島市の小学校で勤務してまいりました。さまざまな地域で経験したこと、またこれから富川で新たに学んでいくことを生かし、富小の子ども達のために頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

石戸 明日香 養護教諭 (新ひだか町立山手小学校より)

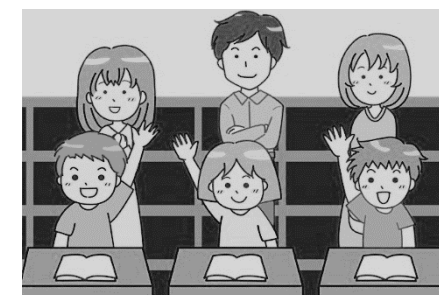
新ひだか町立山手小学校から転勤して来ました、養護教諭の石戸明日香と申します。日高町での勤務は初めてですが、富川小学校の子どもたちが毎日元気に笑顔で過ごせるように全力でサポートしていきたいと思っております。慣れるまでご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、早く学校(校舎)に慣れて頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。

全校一斉の授業参観日があります

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、授業の様子を撮影し、You tubeの「富小チャンネル」で、期間限定配信をしました。

今年度については、ゴールデンウィーク明けから5類になることもあり、徐々にみなさんに集まっていただき、直接子ども達の様子を参観いただける教育活動を提供して行きたいと考えております。

4月の参観日は、「全校一斉」の参観日としました。詳しくは、同日配信の安心安全メールでご確認ください。(1年生のみ紙面で配付) また、授業参観の後は、「PTA総会(体育館)」「学級懇談会」を実施いたします。PTA専門部等、役員決めもあります。富小の子ども達のために、ご協力をお願い致します。



<新年度からのマスクの着用について>

報道等でもご存じかと思いますが、「4月1日以降の学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」という内容の通知が、文部科学省から出されております。

本校としましては、新年度が始まってすぐに学級閉鎖等で、教育活動が停滞してしまう恐れを踏まえ、「5類」に下がるまでの1か月を「マスクの着脱を自分で判断するための準備期間」とし、「マスクをつけた方がよい場面」「マスクをつけなくもよい場面」を子ども達と一緒に考える期間にしたいと思っております。と同時に、マスクの着脱で偏見や差別が生まれないよう指導してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

<裏面へ続く>